

疲労とはなにか

すべてはウイルスが知っていた

2024年

日時 11月30日 土 13:30～15:00

開催 オンライン (zoom ウェビナー) 参加無料

講師 東京慈恵会医科大学 疲労医学講座 特任教授 近藤 一博 氏



プロフィール

1985年、大阪大学医学部卒業。1991年、大阪大学微生物病研究所助手。1993～1995年、スタンフォード大学留学。1996年、大阪大学大学院医学系研究科・微生物学講座助教授。2003年東京慈恵会医科大学・ウイルス学講座教授。2021年より東京慈恵会医科大学疲労医科学研究センターセンター長を兼任。ヒトヘルペスウイルス6 (HHV-6) の潜伏感染・再活性化機構を解明したほか、生理的疲労のメカニズムの解明、うつ病の原因遺伝子SITH-1の発見、新型コロナ後遺症の原因の究明など多くの業績をあげる。著書『疲労とはなにか すべてはウイルスが知っていた ブルーボックス』など。

講演概要

「うつ病」も「新型コロナウイルス後遺症」も
疲労とウイルスの問題だった?!
～世界をリードする疲労研究の最前線

疲労は多くの疾患の原因となる重要な現象ですが、そのメカニズムは良く分かっていませんでした。我々は、疲労の正体を明らかにするために、ヒトの体内に潜伏して疲労と非常に密接な関係を持つヒトヘルペスウイルス6 (HHV-6) というウイルスを詳しく調べました。

HHV-6は、疲労に反応して唾液の中に出てくるのですが、この引き金になる物質を調べることで疲労の原因がeIF2 α という物質であることを見出しました。また、HHV-6が産生しているSITH-1というタンパク質がうつ病を引き起こすことを発見しました。このSITH-1によく似たタンパク質は、新型コロナウイルスも持っており、これが新型コロナ後遺症を引き起こすこともわかりました。

この講演では、ウイルスを通じた疲労のメカニズムについて説明することで、疲労やウイルス研究の面白さをお伝えしたいと考えています。

参加申し込み方法

下記のサイトよりお申し込みください。
<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/seminar/topics/2410001.html>



※本セミナーはzoom ウェビナーを使用したオンライン開催です。参加にはパソコン、タブレット、スマートフォンなどの端末とネット環境をご用意ください。

※zoomを初めてお使いの方は事前にzoom アプリのダウンロードをお願いいたします。(アカウント登録不要)

※お申し込みの際「近藤先生に聞いてみたいこと」として質問を募集しています。

当日の質疑応答で紹介させていただきますので是非ご協力をお願いいたします。

主催 公益財団法人 日立財団

☎03-5221-6677 ✉hitachizaidan@hdq.hitachi.co.jp